

10/20 五度

しの秋の雨の中、東京の昭和神宮外苑競技場で約2万5千人の男学生が学生服に銃剣を担いで行進し、6千人余の父母や女学生らがスタンプから見守りまし。80年前の1943年10月21日「学徒出陣80年」の光輝です。

ベンを捨てて剣をとつ

学徒出陣とは、第2次世界大戦の日本の戦局悪化に伴い、国軍が戦争に絶え間ない中で、それで微兵を猶予されていた大学生や旧制高等学校・専門学校生が陸海軍に召集されたことです。

43年9月、東条英機内閣は、学生の微兵猶予を取り消す勅令「在学微兵延期臨時特例」を公布しました。ついで、理工系や教員養成系以外の大学・専門学校の満20歳

## 主張

学徒出陣80年

に達した学生・生徒の徴兵を決定し、同年12月に文科系の学生のものを陸海軍に入隊させました。

社会全般が、学徒出陣について「諸君が悠久の大義に生きる唯一の道」と訓示しました。それによって、学徒出陣は「挺身して頑敵を撲滅せん。生身もどよ

が奪われていきました。そうした苦惱や葛藤の姿は、戦後出版された戦没者の手記『さくわだつみのじ』に収録されています。

「特攻は命じた者は安全で命じられたる者だけが死ぬ」—歴史学者の直木孝次郎さん(2001年)画面が読み取りにくかったため、

### わだつみの悲劇を胸に刻む時

り生還を期せず」と書い、命を投げ出す覚悟を表明しました。

死むのが」になる4年前に詠んで朝日歌壇賞を受けた短歌です。直木さんは、この43年、京都帝國大學を卒業し、海軍航空隊に入隊しました。同期には特攻隊員として推奨されます。彼らは短期の訓練の後、中國大陸や東南アジア、南太平洋などの前線に送られました。

木さんは、「たゞに戦死した人も少くありません。その痛苦の体験を踏まえ、戦

最終的には不合格で

いた。それが特攻隊

員だったことを後

で知ったと語ってい

ます。

8月、対中国を念頭に「たたかう

めに

惨な経験を踏まえ、戦争についての深い反省に鑑みて、平和主義を基本原理として採用し、戦争と戦力の放棄を宣言した」と明記した。翌年、陸軍特別操縦見習士官の試験を受け、一次試験には合格

したもの、直木の戦争体験に觸り受けたものでした。

戦争起させぬ覚悟を

本國憲法は、第一次世界大戦の悲惨な経験を踏まえ、戦争についての深い反省に鑑みて、平和主義

の深

いを批判し続けました。

憲法学者の直木孝次郎さん(1999年死去)は43年、東京帝国大

学在学中に陸軍特別操縦見習士官

た戦没者の手記『さくわだつみのじ』に収録されています。

た。翌年、陸軍特別操縦見習士官の試験を受け、一次試験には合格

したものの、直木の戦争体験に觸り受けたものでした。

が奪われていきました。そうした苦惱や葛藤の姿は、戦後出版された戦没者の手記『さくわだつみのじ』に収録されています。

た。翌年、陸軍特別操縦見習士官の試験を受け、一次試験には合格

したものの、直木の戦争体験に觸り受けたものでした。

が奪われていきました。そうした苦惱や葛藤の姿は、戦後出版された戦没者の手記『さくわだつみのじ』に収録されています。

た。翌年、陸軍特別操縦見習士官の試験を受け、一次試験には合格

したものの、直木の戦争体験に觸り受けたものでした。